

2025_0217 「雪に乏しい浅間山（写真）」日々の理科 3847号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

日曜日に信濃追分（軽井沢町）に用があり、日帰りで行って来ました。午後に東京駅から「はくたか」に乗って、軽井沢駅で乗り換え、中軽井沢駅で迎いの車を待ちました。実は新幹線のJR軽井沢駅からは、浅間山はよく見えません。浅間山の寄生火山の一つ「離山（はなれやま）」が、見事に邪魔しているからです。しかし、「しなの鉄道」に乗って一つ長野寄りの「中軽井沢駅」からは浅間山がよく見えます。

中軽井沢駅は、新幹線開通前の信越本線時代には、全特急列車が停車し、夏には臨時特急列車の始発駅にもなっていました。皇族も利用する名門駅でしたが、新幹線開通後は没落。古い駅舎はみすぼらしい雰囲気でした。しかし数年前に2階建ての新駅舎が完成。町立図書館や交流施設も入り、面目を一新しました。2階のテラスからは浅間山が眼前に見えるのです。

今年の浅間山麓は雪がほとんど・・・というよりも全く積もりませんでした。毎年今の時期は浅間は裾野まで真っ白なのですが、今年は地肌が目立っています。特に南側（中軽井沢側）は写真のような状態で、まるで4月の浅間山のようなようでした。

(2025年2月中旬／中軽井沢駅)

